

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 2 チーム	担当課名	障害福祉課
事業番号	2-8	事務事業名	障害者ワークサポーター派遣事業

判定結果	現 行 ど お り
------	-----------

【結果内訳】

判 定		判 定 理 由	
選択人数	区 分	選択人数	項 目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
2	見直しが必要		① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
		1	② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
			④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
			⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
2	現行どおり		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
2	拡充が必要	1	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
		1	② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
			③ その他

【判定人からのコメント】

○「現行どおり」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 対象者の把握、定着率の出し方が十分かは分からない。拡充・見直しのいずれでもデータが必要。</p> <p>② 全国的に先駆的であり、手厚さを感じる。目標とするのはやはり定着率だと思う。さらに明確に位置付けて欲しい。</p>	<p>③ 永続的にサポートする支援では限りがあり、対象者の拡大が図られないのではないか。(ある程度の期限の設定は行うべきではないか)</p> <p>④ もう少し研修を充実した方が良いのではないか。</p> <p>⑤ 現在の受託事業者ありきの事業に思える。一度、事業自体を再考慮すべき。NPO等の活用の検討。</p> <p>⑥ 障害者の把握が不十分と考えられる。事業の拡充が必要である。</p> <p>⑦ ワークサポーターに負担感が生じてその継続が困難な様子なので、ボランティアが継続でき、もっと広がるよう取り組んでください。</p>